

各学科の教育目標

□ 美容ファッションビジネス学科

本学が設置された昭和 25（1950）年当時の学科は「被服科」であった。短期大学設置目的には「本学は高等学校教育の上に更に教養を高め、人格の完成をはかり特に衣生活の合理性に基づき、その世界的表現技術及び創造能力を授け以って生活文化の向上に寄与する実力ある女性を育成することを目的とする」とある。その後、昭和 44（1969）年に服飾美術専攻課程を設置し、平成元（1989）年の生活文化学科への改称を経て、平成 18（2006）年度に現在の美容ファッションビジネス学科が設置された。その精神は現在の美容ファッションビジネス学科に引き継がれている。

本学科は美容師コース、ファッション・ビジネスコースの 2 コースに分かれ、これまでの被服・ファッション教育の伝統を基盤に、さらに時代の要請にともないコンピュータ教育や美容（ヘア、メイク、ネイル、アロマ、エステ）教育を取り入れ可能な限りファッションの統合教育、トータル化教育を目指すものである。

□ 保育学科

本学科は昭和 29（1954）年に「保育科」として設置された。保育者としての在り方を本学の建学の精神である「筑紫の心」を基礎に、人間形成の最も大切な時期である幼児期を担うことのできる質の高い保育者を養成することが教育目的である。本学科では文部科学省管轄の教育職員免許法に定められた幼稚園教諭二種免許状と厚生労働省管轄の保育士資格が同時に取得可能である。そのため、この免許・資格の取得の実現に向け、幼稚園教諭・保育士としての一般教養と専門的知識を修得し、その応用的能力を伸ばすと共に人間関係を大切にす豊かな人格の完成に努め、広い視野から社会に対応し得る実践力を身につけた健全な保育者を育成することを教育目標としている。

□ 食物栄養学科

本学科は昭和 33（1958）年の開設以来半世紀以上にわたり本学の教育理念である実学教育を中心に据え、「食」のスペシャリストとしての実践的な栄養士の育成を目指してきた。その理念のもと、今日の「食」のあり方や高齢社会に起因して顕在化する様々な問題に実践躬行して取り組むことのできる栄養士として、家庭はもとよりあらゆる世代にわたる人々の健康づくり（食育）に寄与できる人材の育成を教育目標としている。

□ 専攻科 介護福祉専攻

本専攻科は長年にわたり保育の現場を担う保育士の養成に貢献してきた保育学科における保育技術経験を土台に、介護福祉士としての専門能力を更に修得させ、円熟した介護サービスの専門家を養成することを教育目的として、平成 14（2002）年に設置された。昭和 63（1988）年の介護福祉制度の施行から現在に至るまでの介護福祉士の在り方及び養成プロセスを踏まえたカリキュラムが見直しされ、平成 21（2009）年 4 月 1 日より新しい制度が施行された。人間の尊厳を支えるケアの実践、自立支援、介護予防など建学の精神の理念と高い倫理性に立っての学習や職業意識を持たせることを教育目標としている。

美容ファッションビジネス学科 3つのポリシー

□ アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

本学科では、ファッションを単なる服飾制作だけに捉われず、全身、髪の毛から爪先までのトータルファッションと考え、美容やビジネスの相互作用を教育課程に取り入れ、現代社会に必要とされるトータルな視点をもった人材養成を目的としています。よって美容ファッション学科では、以下のような学生を求めます。

1. 建学の精神（勇気・親和・愛・知性が調和する人間性を養う人格教育）に賛同する人。
2. 美容師専門分野はもちろん、社会人として求められる豊かな教養、人間性、社会性を身に付けたい人。
3. ファッションをトータルに捉え、ファッション分野について深く理解したい人。
4. 情報ビジネス分野を理解し、職場において貢献できる実践力を身に付けたい人。
5. 医療秘書実務士として技術や知識を身に付けたい人。

□ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

【美容師コース】

九州唯一、短大で美容師国家試験受験資格の取得、養成。同時に短大としての教養、知性を学ぶカリキュラムも選択豊富に揃えています。ヘア、メイクアップ、エステ等美しさへの探求、審美眼の養成、その技術と知識の習得構成です。また接客・接遇のためのコミュニケーション能力、プレゼンテーション論、サロン経営に必要な社会学、ビジネス実務とトータルなライフスタイルを実現する美容コースカリキュラムです。

1. 美容師としてはもちろん、社会人として求められる豊かな教養や人間性、社会性を養う。
2. 美容師として必要なヘア、メイクアップ、エステ等美しさへの探求、審美眼を培う。
3. 接客・接遇のためのコミュニケーションやプレゼンテーション力を培う。
4. サロン経営に必要な社会学、ビジネス実務等を学ぶ。

【ファッション・ビジネスコース】

自分のライフスタイル、デザインビジョンは何か。ファッションをコンセプトに知識、知恵、技術を習得するトータルファッションカリキュラム。自らをデザインし、自らでクリエイトしファッションビジネスを視点に、進路に合わせ自分で選べる多彩なカリキュラム。可能性は広く、多様な必修と選択で構成されています。

1. ファッションに興味がある人、ビジネスに興味がある人、それぞれが自由に興味がある科目を選択し、最終的には資格取得につなげていくカリキュラム編成。
2. ファッションに興味がある人はファッションの基礎から応用の技術まで専門分野を幅広く学ぶことができる。
3. CGを使い、自由で多様なデザインを学ぶ。また、ヘア、メイクアップ等トータルファッションを

学びその成果をファッションショーで発表する。

4. ビジネスに興味がある人は、秘書関係科目や情報関係科目を学び、多くの資格を取得し、職場で求められる実践力を身に付ける。

□ ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

【美容師コース】

本学科は「ファッション」を文化創造、人間形成のための実学として捉えています。その教育目標を達成するための基準となる単位を修得させ、以下の要項要件を満たす者に短期大学士の学位を授与します。

1. 幅広い教養科目の学びを通して、社会人として求められる豊かな教養、人間性、社会性を身に付けている。
2. 美容師専門分野を深く理解し、求められる職場において貢献できる実践力を身に付けている。
3. 現代社会に求められる多様な技術を習得し、美容師業務に活用できる力を身に付けている。
4. 美容師養成の中でさらに、美容師としての技術、ならびに美容に関わる職業人としての幅広い知識を身に付けている。
5. 美容師養成の中でさらに、美容分野に深くかかわるスペシャリストとしての力を身に付けている。

【ファッション・ビジネスコース】

本学科は「ファッション」を文化創造、人間形成のための実学として捉えています。その教育目標を達成するための基準となる単位を修得させ、以下の要項要件を満たす者に短期大学士の学位を授与します。

1. 幅広い教養科目の学びを通して、自らの資質を向上させ、社会人として求められる豊かな教養、人間性、社会性を身に付けている。
2. 現代社会に求められる多様な知識や技術を習得することで、社会生活における活用能力を身に付けている。
3. ファッション専門分野を深く理解し、基礎知識及び技術を習得することで、就業に向けた実践的能力を身に付けている。
4. ファッション分野を主軸としたスキルアップを図ることで、求められる職場での幅広いアプローチ能力を身に付けている。
5. ビジネス専門分野を深く理解し、基礎知識及び技術を習得することで、就業に向けた実践的能力を身に付けている。
6. ビジネス分野を主軸としたスキルアップを図ることで、求められる職場での幅広いアプローチ能力を身に付けている。

保育学科 3つのポリシー

□ アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

本学科ではキャンパス内にある附属幼稚園や保育学科内にある保育室を活用し地域社会の連携をとり、子育て支援を実施しながら、子どもの健やかな成長を保証するために必要な人材を養成したいと考えています。よって、保育学科では以下のような学生を求めます。

1. 建学の精神（勇気・親和・愛・知性が調和する人間性を養う人格教育）に賛同する人。
2. 子どもが好きで、豊かな感性と表現力・温かな愛情を持って子どもの健やかな成長を助長していく人。
3. 子どもの心と体について学び、幼稚園や保育所、そして発達支援センターなどで働きたい人。
4. 社会情勢の要請に応え、どのような保育者になりたいのか、目的意識と使命感をもっている人。
5. 絵本に親しみ、幼稚園・保育所で絵本読みなどを行い、子どもをより深く理解しようとする意欲のある人。

□ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 学生一人ひとりの自己特性を大切にしながら豊かな人間関係を深め社会人としての人間的な成長をサポートする。
2. 子どもたちの育ちの変化や社会の変化を理解し、保育者としての役割の大切さを理解するとともに保育者としての実践力を身に付けさせる。
3. 保育者としての質の向上を図り、「いのち」を大切にしながらより良い保育を探求する能力を培う。
4. キャンパス内にある附属幼稚園と連携を密にしたシラバスを作成し、学生と附属幼稚園の園児と一緒に表現活動や行事（運動会・誕生会・スモモ狩り）などを共有し保育現場で役立つ実践力を身に付けることができるカリキュラムを実施している。
5. 保育士の資格を取得し、さらに専門性のある教科目を学ぶことによって「質の高い温かな専門性豊かなベビーシッター」の資格取得を目指す。
6. より専門的知識を育てていくために、学生が在学中に自らの意思により職業体験を行う「インターンシップ」を取り入れた「キャリア演習」を設けている。

□ ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学科では、学科の教育目標を達成するために設定した科目を履修させるとともに、基準となる単位を修得させ、以下のような要件を満たす者に短期大学士（保育学）の学位を授与します。

1. 心豊かな保育者としての教養と基礎学力を習得している。
2. 保育の基礎を学び、保育者としての使命感・温かな愛情等を培った保育者。
3. 保育内容・子育て支援・特別支援・食育等の専門性を習得している。
4. 地域に貢献できる専門性に優れた専門知識を身に付けている。
5. これからの福祉社会のニーズに即応した保育者を目指している。

食物栄養学科 3つのポリシー

□ アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

本学科では生きる基本である「食」を通して人々の健康に貢献できる栄養士を目指しています。よって、食物栄養学科では以下のような学生を求めます。

1. 建学の精神（勇気・親和・愛・知性が調和する人間性を養う人格教育）に賛同する人。
2. 現代社会で求められる「食」のプロとして社会に貢献したいという熱意を持つ人。
3. 「食」や「健康」に対して強い関心を持ち、主体的な学習姿勢を持った人。
4. 「医療」や「福祉」にも興味関心があり幅広く学ぼうとする意識を持った人。
5. お互いの役割を理解し合い協調性をもって取り組むことができる人。
6. 子どもの食生活の大切さについて関心を持ち、栄養教諭を目指す人。

□ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 短期大学士としての一般教育科目や栄養士免許規定科目を全員が無理なく履修できるようにカリキュラムが組まれている。
2. 栄養と健康の関係について専門的な知識を養うと共に、調理技術等を徹底習得するために多くの実験、実習科目を設置している。
3. 本学科の正規の授業を履修することで「栄養士」免許と「栄養教諭二種」免許または「医療秘書実務士」等の資格が取得できる。栄養士養成に関連した授業と他の免許や資格取得のための授業が2年間で効率よくカリキュラムに組まれている。
4. 学外実習として現場での実習は応用力の習得のみならず、自分の適性に合った職場を考える機会となる。病院、施設、保育所などから選択する給食実習や小学校での給食実習、さらには栄養教諭としての教育実習や医療事務の実習が組まれている。

□ ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学科の教育目標を達成するために栄養士免許取得に必要な科目を履修し、以下のような要件を満たす者に短期大学士（食物栄養学）の学位を授与します。

1. 幅広い教養科目の学びを通して、社会人として求められる豊かな教養、人間性、社会性を身に付けている。
2. 栄養士専門分野を深く理解し、求められる職場において貢献できる実践力を身に付けている。
3. 現代社会に求められる多様な技術を習得し、栄養士業務に活用できる力を身に付けている。
4. 栄養士養成の中でさらに、小・中学校の栄養教諭としての資質を身に付けている。
5. 栄養士養成の中でさらに、医療秘書実務士としての技術、ならびに医療に関わる職業人としての幅広い知識を身に付けている。
6. 栄養士養成の中でさらに、食分野に深く関わるスペシャリストとしての力を身に付けている。

専攻科（介護福祉専攻） 3つのポリシー

□ アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

少子高齢化社会において、子どもの育成と高齢者の介護は最優先で取り組むべき大きな課題です。本専攻科ではこの問題に取り組むために保育士資格を持つ介護福祉士の養成を行っています。よって、本専攻科では以下のような学生を求めます。

1. 建学の精神（勇気・親和・愛・知性が調和する人間性を養う人格教育）に賛同する人。
2. 我が国の高齢社会の現状に関心を持ち、福祉を担う人材として活躍しようとする人。
3. 利用者の立場に立って考えることができるやさしさと思いやりの心を持っている人。
4. 幅広い年齢層に対応できるコミュニケーション能力を身につけたいと思っている人。

□ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 介護に必要とされる専門的知識・技術を学び、現場で必要とされる実践的能力が習得できるようなカリキュラムが組まれている。
2. 介護福祉士として質の向上を目指し、基礎となる教養や倫理的態度を養い、「教育・福祉・医療」の分野で貢献できる人材を育成する。

□ ディプロマ・ポリシー 修了までに身に付けるべき能力（修了認定の方針）

本科所定の単位を修得し、介護福祉士の国家試験の受験資格を取得し合格できる学力を身に付けます。介護福祉士のプロフェッショナルを目指して倫理観、専門知識、介護技術、コミュニケーション能力を習得し、社会貢献できる能力を身に付けることを目標とします。

1. 本科所定の単位を修得し、介護福祉士の国家試験受験資格と同等の学力と技術を取得している。
2. 「尊厳の保持」「自立支援」の生活を支えることができる実践力を身に付けている。
3. 他職種協働や介護の提供に必要な周辺知識の根拠について理解できている。